

英語による授業を行うための対面型ワークショップ～英語で効果的に教えるために～

事前準備のお願い

ご自分の専門分野を英語で教える模擬授業を準備してください。他分野の先生方が学生役になりますので、トピックはできるかぎり初歩的なものの方がいいでしょう。長さは14分以内です。パワーポイントなどのツールを使い、グローサリーや資料などのハンドアウトも用意してください。

14分という短い時間の中でも可能な限り1コマの授業の流れを意識してください。以下のような流れを推奨します。

Introduction (3分程度)

- **Create atmosphere conducive to learning** (学びやすい雰囲気を作る)
- **Interest students with a hook** (問いかけ、写真、エピソード、サンプルなどで興味を引く)
- **Clarify objectives** (学習目標を明確にする)
- **Show an outline** (これからのステップを示す)

Body (10分程度)

- **Repeat the following:** (以下を繰り返す行う)
 - Ask questions & assign tasks** (学生に考えさせる)
 - Give important knowledge** (知識を与える)
 - Conduct pair-work, group-work, & discussion** (学生間で対話させる)
 - Give answers, explanations, & summaries** (教員の考えを語る)
 - Confirm students' understanding** (学生が理解しているかを確認する)

Conclusion (1分程度)

- **Confirm important points** (重要項目を再確認する)
- **Give students a sense of achievement** (学生に達成感を与える)
- **Orient students to the next step** (次の授業の内容を伝える)

Conclusion まで至ることが時間的に困難な内容である場合には、Introduction から始めて Bodyの途中までカバーする形でも大丈夫です。Bodyを部分的に早送りするのも問題ありません。

模擬授業は完璧なものを目指す必要は全くありません。準備をし、実際に行ってみる体験を通して、英語で教えるコツを学んでいくことが目的です。当日は是非リラックスしてご参加ください。